

## 質疑・回答書

告示番号	第63号	件 名	平成28年度下水道築造工事(原田中央幹線・その3)
No	質疑事項	回 答	
1	本工事内訳書、一次覆工、セグメント、明細書第2号、代価表第2号に記載された名称・規格と設計図(セグメント構造図(1)~(2))が一致していません。設計書(桁高125mm)、或いは設計図(桁高103mm)のどちらに基づき積算すれば宜しいですか。	桁高103mmにて積算してください。	
2	特記仕様書P2、[IV]施工、[3]立坑築造工に「通行止めによる施工」とありますが、No.1及びNo.2(公園部)の作業時間帯をご教授ください。現場説明書の「昼間施工の実績あり」に基づき、昼は施工との理解で宜しいですか。	昼間施工で積算しています。	
3	上記1に関して、No.1は車、歩行者共に通行止めで宜しいですか。また、すぐ横の市の駐車場は、作業基地として約290㎡使用は可能との事ですが、その場合、歩行者通路を設置することは必要ですか。合せて、借地期間、借地料もご教授ください。また、約290㎡以上の借地は可能ですか。	車両のみ通行止めと考えています。 借地料は免除の予定です。 期間及び290㎡以上の借地については、協議によります。	
4	上記1に関して、No.2は公園部を借地するとの理解で宜しいですか。また、公園内に歩行者用迂回路を設置する必要はありますか。合せて、借地期間、借地料もご教授ください。	公園及び府道(歩道部)の借地予定です。 府道側に仮歩道設置予定で考えています。 借地料は免除の予定です。 期間及び詳細については、協議によります。	
5	付帯工、植栽工、明細書第89号、No.4立坑基地、付近の付帯工として植栽設置工がありますが、前回工事で移植した樹木を復旧するとの理解で宜しいですか。或いは新たな木を植樹するのですか。	新たな木の植樹にて積算しています。	

6	付帯工、植栽工、明細書第89号、大門公園に植栽移設復旧工(低木)(高木)がありますが、撤去した樹木は処分までが含まれ、設置は新たな樹木を植えるとの理解で宜しいですか。或いは移植の上、転用でしょうか。代価表には新たな木が計上されています。	既設樹木を別の箇所移植し、新たな木を植樹することを想定しています。
7	図面番号45、発進受台計画図(1)、A-A断面図に既施工の存置発進坑口と今回工事の仮組セグメント5リングの表記がありますが、この形態で資機材の搬入や残土の搬出はどの様に考えれば宜しいですか。また、図面番号46、発進受台計画図(2)、E-E断面図との整合性がとれません。	仮組セグメントの後方にトラバーサを設置し、横移動による資材等の搬入するように考えています。 図面46については、 図面45平面図のE-E引出線を右に250ずらした位置としてください。
8	図面番号50、No.2落差マンホール構造図(1)に、FRPM管φ 900mmでシールド本管とマンホールを接続する表示がありますが、FRPM管φ 900mmの両端固定の方法をご教授ください。また、横坑掘削時の土留が計上されていません。地盤改良工が施されているとは言え無普請ですか(素掘りでは安全性は確保できません)。	No.2人孔の仮設である鋼製ケーシングとセグメントは、ほぼ隣接しているため、このような積算としています。 現場状況に合わせて、安全性確保のために必要な事項が発生した場合は協議のうえ対応します。
9	図面番号52、No.1人孔構造図に、既設管HPφ 1650mmを越流堰(構造物)に切替える表記がありますが、既設管HPφ 1650mmを撤去、及び越流堰インバート施工する際の流下水の堰止めはどの様にするのでございましょうかご教授ください。	既設管HP1650mmは、インバート施工時の型枠として使用し、人孔築造後、管の上半分を溶断にて、撤去を行うこととしています。
10	図面番号75、No.4地盤改良工図に、大口径高圧噴射攪拌工法(施工済み)の表記がありますが、立坑引継時に止水性に問題があると判断された場合、補足注入等の協議をいただくとどの理解で宜しいですか。	質問のとおりです。
11	図面番号80、鋼製セグメント補強構造図(3)には将来流入との表記はありますが、図面番号79、鋼製セグメント補強構造図(2)にはありません。補強鋼材設置のみで将来流入との理解で宜しいですか。	質問のとおりです。

12	<p>図面番号84、セグメント構造図(2)、B型ピースの幅が1200mmとの表記になっています。300mmで宜しいですか。</p>	<p>質問のとおりです。</p>
13	<p>現場説明書、[I]シールド工、[3]一次覆工、(3)発生土処理、②固化材の使用については、「セメント系改良材、改良配合量30kg/m<sup>3</sup>」とありますが、明細書第5号、代価表第21号では、30kg/m<sup>3</sup>となっています。どちらで積算すれば宜しいですかご教授ください。</p>	<p>15kg/m<sup>3</sup>として積算をお願いします。</p>
14	<p>現場説明書、[VI]防音工【No.4発進立坑】に、「機械等搬入時は、天井部を撤去再利用としている」とありますが、天井部を撤去すれば100～120t級のクレーンが旋回してシールド機械(分割品:最大重量25t想定)を立坑内に投入できるとの理解で宜しいですか。天井部の梁材を撤去する必要があると想定されます。梁材を撤去しても壁部は大丈夫な構造となっているのですか。</p>	<p>天井部のパネルとブレースを撤去して投入することを想定しています。梁材を撤去する場合は、事前に構造計算が必要になります。</p>
15	<p>現場説明書、[VIII]渉外事前調整、[1]阪急電鉄株式会社、(1)阪急電鉄高架橋(軌道)への影響検討に、「阪急電鉄(株)と豊中市の委託契約で阪急高架橋の計測管理を行う」とありますが、阪急電鉄(株)が計測工、豊中市が管理を行うと理解して宜しいですか。</p>	<p>豊中市上下水道局より、阪急電鉄(株)へ委託を行い、計測、管理ともに、阪急電鉄(株)が行います。</p>
16	<p>現場説明書、[VIII]渉外事前調整、[2]近接施工の協議、①上空制限範囲について、「列車見張員の配置が必要である」とありますが、配置箇所はどこになりますか。地上に配置すれば宜しいですか。高架橋の軌道や電車が目視できない所でも宜しいですか。櫓などを設置して高架橋の軌道や電車を目視する必要はありますか。</p>	<p>櫓などを設置して目視願います。</p>
17	<p>現場説明書、[VIII]渉外事前調整、[3]公園協議に、「公園管理者と概ね調整はしております」とありますが、作業時間帯は何時ですか。また、公園借地期間、借地料をご教授ください。</p>	<p>作業時間帯は9:00～17:00を標準としています。借地料は免除の予定です。期間及び詳細については、協議によります。</p>

18	<p>現場説明書、[IX]支障物件(地下埋設物)に、「設計段階で、各埋設物管理者と事前調整を行っていますが、受注後は移設時期、移設ルート等の詳細協議が必要です」とありますが、各埋設物管理者の責務による工程遅延が発生した場合は、特記仕様書、[Ⅲ]工事現場管理、[7]に基づき設計変更協議との理解で宜しいですか。積算にあたり、当社の計画工程表で積算して宜しいですか。市の標準計画工程表(積算工程)に基づく必要はありませんか。この場合、市の標準計画工程をご提示ください。</p>	<p>協議のうえ対応とします。 積算に関しては、貴社の計画工程表にてお願いします。</p>
19	<p>現場説明書、[IX]支障物件(地下埋設物)、[4]測点7BC.11～到達立坑付近、(1)NTT通信用既設とう道設備に関わる現地計測の協議は設計変更の対象との理解で宜しいですか。</p>	<p>協議のうえ対応とします。</p>
20	<p>現場説明書、[X I]交通整理員及び列車見張員に夜間の表記がありますが時間帯をご教授ください。</p>	<p>交通誘導員：深夜時間(22:00～5:00)、 列車見張員：23:00～6:30 上記にて計上しています。</p>
21	<p>シールド工事特記仕様書、[Ⅱ]セグメント製作と検査、[4]セグメントの種類に、「標準鋼製セグメント S38-2 SM490Aで設計している」とありますが、設計図番号83、及び84はS33-2となっています。設計図の表記が正しいとの理解で宜しいですか。</p>	<p>S33-2にて積算してください。</p>
22	<p>シールド工事特記仕様書、[Ⅳ]二次覆工(スチールフォーム：原則として9m)の製作と検査、[1]設計条件、(13)に「中間ジャッキを1カ所以上考慮する」とありますが、必須条件でしょうか。</p>	<p>考慮していますので、積算上は必須とします。</p>
23	<p>本工事内訳書、立坑工、路面覆工No.1、明細書第62号の覆工板+覆工板受桁設置撤去、25㎡に対して、覆工板賃料は1式計上で、代価表第221号では覆工板の整備費が9.0㎡となっています。25㎡が正しいとの理解で積算して宜しいですか。</p>	<p>質問のとおりです。 積算においては、設計書のとおりお願いします。</p>

24	<p>シールド工事特記仕様書、[1]シールド工事一般、[3]二次覆工コンクリート、コンクリートの種類は高炉(B)との表記ですが、一方設計書の代価表第25号では普通となっています。どちらを正として積算するかをご教授ください。</p>	<p>設計書を正として、積算願います。</p>
25	<p>本工事内訳書、立坑(夜間)【No.4】の仮設鋼矢板(夜間)及び支保工撤去工【No.4】、覆工板・覆工板受桁・覆工板桁受設置(夜間)【No.4】について、支保工撤去工【No.4】に鉄くずヘビーH2が計上されていません。計上漏れではありませんか。その他の項目には鉄くずヘビーH2が計上されています。</p>	<p>スクラップは計上しておりません。、協議のうえ対応願います。</p>
26	<p>刃口推進工(No.1立坑⇒No.8特殊人孔)、泥濃式推進工(No.2⇒No.9 3号人孔)の到達既設人孔は、現在供用されているのですか。到達作業条件が設定できず、どの様に費用を計上すれば宜しいですか。</p>	<p>ともに供用しています。 特殊人孔No.8について、晴天時の流入はなく、雨天時に、貯留管の水位が一定以上となれば、マンホールポンプにより排水されます。 また、晴天時において、任意に貯留水を排水することが可能です。 No.9 3号人孔について、合流管の会所であり、晴天時は流量が少量となります。</p>
27	<p>設計書、本工事費内訳書の一次覆工【No.4～No.1】、セグメント【No.4～No.1】、明細書第2号に計上されている「急曲線補助工法(材工費)」が1式となっています。数量はどの様に積算すれば宜しいですか。設計数量に関係なく、当方の考える計画数量が1式との理解で宜しいですか。</p>	<p>クレーショック:26.8m3 ミニパッカー:1,000本 上記にて積算しています。</p>
28	<p>設計書、本工事費内訳書の一次覆工【No.4～No.1】、添加材【No.4～No.1】、明細書第7号に計上されて添加材1式が、代価表第24号で水3,647tとなっています。実施工時にベントナイト、或いは粘土等が必要となった場合は協議いただけますか。</p>	<p>協議のうえ対応とします。</p>
29	<p>設計書、本工事費内訳書の覆工コンクリート【No.4～No.1】、明細書第9号に計上されています各曲線諸元別の1回あたりのコンクリート打設長は何mですか。また、スチームフォーム調整工(縮小+復元)の2回はどの区間で実施するのですか。</p>	<p>急曲線箇所の2箇所 「R22 7EC.13～7BC.13」、「R25 7EC.9～7BC.9」 としています。 打設長について、R22、R25:3m、直線部:9m にて積算しています。</p>

30	<p>設計書、本工事費内訳書、推進工【No.1～既設No.8、No.2～既設No.9】、明細書第37号の発進坑口について、φ 2200mm刃口推進工は計上されていますが、φ 900mm泥濃推進工に発進坑口が計上されていません。実施工時の協議事項との理解で宜しいですか。</p>	<p>質問のとおりです。</p>
31	<p>設計書、本工事費内訳書、立坑工【No.1】、土留工【No.1】、細書第60号、ライナープレート材料費について、代価表第218号の撤去工1mは施工費のみ計上されていますので、撤去する1m分の材料費が未計上ではないでしょうか。設計図から22m分が必要と判断できます。21m分しか計上されていません。</p>	<p>設計書のとおり積算願います。</p>
32	<p>内訳書第1号、運搬費、立坑用仮設材、仮設材運搬、製品L≤12m、片道5km、片道【No.4立坑】として、86.709tが計上されていますが、仮設材のどの仮設材が該当するのか仕様諸元をご教授ください。</p>	<p>No.4支保撤去工のうち、副部材Bを除いた分及び覆工板(スクラップ計上なし)+受桁分(スクラップ計上あり)以上の合計86.709tにて積算しています。</p>
33	<p>内訳書第1号、運搬費、立坑用仮設材、仮設材運搬、製品L≤12m、片道5km、往復【土砂ピット】として、48.140tが計上されていますが、設計書、明細書第25号、シールド仮設備工、土砂搬出設備【No.4～No.1】では、撤去工のみ計上されていることから、存置された前回工事の既存土砂ピットを使用するのではないのですか。片道計上となりませんか。スクラップ処理するのではないのですか。賃料の場合はどの様に積算すれば宜しいのですか。</p>	<p>土砂ピットについては、全損としてください。 運搬費、スクラップについては、協議のうえ対応します。</p>